☆33 助動詞の慣用表現(may can must)

四角語句を、線の上に練習するでごんすよ。

1

現在の文で、**主語が三人称単数（I、you 以外の１人）**のとき、**be 動詞は is** とし、**一般動詞には s または es をつける。**
（例）He likes TV.（例）Does he play tennis ?（例）He doesn't like TV.

英文には、必ず動詞が１つある。つまり、**be 動詞と一般動詞は、一緒に使えない。**

May I メーアイ～？（私が）～しても、いいですか と、気持ちをたずねる。

Can I キャナイ～？（私が）～しても、いいですか と、物理的確認を求める。

問題１６８ 文を完成させなさい。

(1) May I eat this cake ?
このケーキ［　　］。

(2) Can I read this book ?
この本［　　］。

(3) May I help you ?
い［　　］。

(4) ここに座ってもいいですか。（友人宅にて。）
＿＿＿＿ ＿＿＿＿ sit here ?

問題１６９ 文を完成させなさい。

(1) This is important.（これは大切かもしれません。に。）
This ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ important.

(2) 彼は、良いお医者さんに違いない。
He ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ a good doctor.

(3) 彼は、時間通りに来るに違いない。
He ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ on time.

(4) 彼は、亜紀の友人に違いない。
He ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ Aki's friend.
＿＿＿＿ ＿＿＿＿ that he is Aki's friend.

---

may（許可）と can（可能）。

may：気持ち。
You may smoke.
（あ、タバコ吸っていいですよ。）

can ：物理的な可不可。
You can smoke.
（ここは、喫煙可な場所ですよ。）

be 動詞（～です）について。

Q：彼は幸せです。を英語にしなさい。
He is happy.

簡単ですね。ではこの日本文に、助動詞（will,can,may など）を入れると…

Q：彼は幸せかもしれません。

「です」が見当たりません。そんなときは、「です」って言えるかな？と考えてみるのです。「彼は幸せです。」と。言えた！言えたらまずは、それを英語にします。He is happy. と。そしてそれから can,may などを入れ、そして、is を be にすればよいのです。

He may be happy.
彼は幸せかもしれません。

may と must の応用。

may：～かもしれない。〈推量〉
It may rain soon.
（すぐ雨が、降るかもしれません。）

must：～に違いない。〈断定〉
He must get a goal.
（彼はゴールを決めるに違いない。）

I'm sure that ～.：私は確信している。
I'm sure that he is a spy.
（私は確信している。彼はスパイだと。）
＝ He must be a spy.
（彼はスパイに違いありません。）

決めたことは、１分で良いです。
決めたなら、今すぐやってみませんか。

「明日から頑張る」と思うと、冷めることがあります。だからちょっとこらえて、今日から、いえ、今すぐそれをしてください。

私も 20 代のころ、翌日やらない子を見て、「なんでやらないのかな？昨日のやる気、なんだったのかな？」と悩んでいました。

そして時には「なんでやらないの。昨日やるって言ってただろう？」と責めたりもしました。

本当は５分でも 10 分でも、その日その時、その場所でやらせなかった、私が未熟だったのに。

あなたには、当時の私のように、ならないでほしいです。「人はいったん寝ると、冷静になってしまう。だから今すぐやってみる！」と決めて、本当に今すぐ行動してください。

誰もやってない事をやって、

出典「忘却のサチコ」
阿部潤氏　小学館　より

● 逃げたいのは、戦っているから。転んだのは、進もうとしたから。

☆33 助動詞の慣用表現(letとの書き換え)

四角語句を、線の上に練習するでごんすよ。

英文は、「主語＋動詞～」でできている。
（例）The book on the desk is mine.（机の上にある本は、私のものです。）
これ全部が主語　動詞　※「動詞の前のすべて」が主語と考える。

Who makes dinner？（誰が夕食を作りますか。）疑問詞の主語は、三人称単数となる。

Shall I シャルアイ ～？ （私が）～しましょうか と提案する。

Shall I open the door？
（私が）ドアを開けましょうか。
＝Do you want me to open the door？
という書き換えがあります。

want 人 to：人に～してもらいたい。
という表現です。直訳すると「あなたは私に、ドアを開けてもらいたいですか。」から転じて、「（私が）ドアを開けましょうか。」となる。

Shall we シャルウィ ～？ （私たちで）～しませんか と提案する。

問題１７０　文を完成させなさい。

(1) Shall I wash your car？　あなたの［　　］。

(2) Shall we play tennis？　テニス［　　］。

(3)サッカーをしませんか。　＿＿＿＿ ＿＿＿＿ play soccer？

(4) あなたに夕食を作りましょうか。　＿＿＿＿ ＿＿＿＿ make you dinner？

(5) Shall I wash your car？　＝Do you ＿＿＿＿ me ＿＿＿＿ wash your car？

shall は、①未来と、②主語の意志を表す。　〈応用〉
①（例）I shall go to the library tomorrow.
（私は明日、図書館へ行きます。）
②（例）My son shall study English.
（息子に、英語の勉強をさせます。）
私の→意志で、息子→勉強する。
主語が自分（I）以外でも、話し手（私）の意志を表す。
※shall は主に、目下の人に対して使う表現です。

主語＋let＋人＋動詞：主語の意志を表す。許可
主語＋let＋人＋動詞の原形で、
主語が許可を与え、人が自由に～する。
I will let you go.（行ってらっしゃい。）
↑ 許可を出す人。　↑ 行動をする人。
私が →許可して、あなた→行く。
直訳：私はあなたが行くことを許可します。

(6)明日、彼を行かせますね。　彼→行く（訪れる）。
＿＿＿＿ ＿＿＿＿ visit you tomorrow.

(7)自己紹介をさせてください。　私→紹介する。
＿＿＿＿ ＿＿＿＿ introduce（～を紹介する） myself（私自身）.

(8) あなたに、この本をあげるね。　あなた→もらう（持つ）。
＿＿＿＿ ＿＿＿＿ have this book.
＝I will ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ have this book.

(9) Let me eat this cake .
このケーキを［　　］。
命令文なので、許可を出す人（you）は省略です。

(9)の直訳：「私がこのケーキを食べることを、許可してください。」です。※暗記→Let me take a look it.（それ見せて！）

「相手の気持ち」や「人の心理」を考えてみませんか。

次は、ダイの大冒険のワンシーンです。
少しお付き合いください。

「アバン先生なら、どうしますか？
どう戦うんですか…先生！」

龍魔人と化したバランと戦ったときの、ポップのセリフです。このあとポップは、「あった、たった一つだけ打てる手が！」と気づき、ある呪文を唱えます。

このようにポップは、先生の立場で考えることで、ダイを復活へと導きます。ポップのように、他の人の立場になることで、うまくいくことがあります。参考にしてみてください。

苦手があって当たり前。小・中学生は、学ぶ科目を選べません。

小学生も中学生も、学校の科目は決まっています。自分で選べません。だから、苦手も得意も人それぞれ。それでも入試は全員共通です。

だからこそ、準備も作戦も、一人ひとり違うのです。「どう勉強したらいいのかな？」「ぼくには（私には）何が必要なのかな。」と、合格点を超えるための方法を、この英語プリントを通じて、あなたと一緒に考えていきたいと思います。

出典「忘却のサチコ」
阿部潤氏　小学館　より

泣きたいのは、努力してきたから。悔しいのは、勝ちたいから。

☆33 助動詞の慣用表現

四角語句を、線の上に練習するでごんすよ。

英単語の覚え方：**ローマ字読みで覚える。**
book は「ボオク」、China は「チナ」、write は「ワリテ」のように。
これを２回、紙に書く。そして３回目は、何も見ないで書いてみよう（自分テスト）。

be 動詞：です。います。あります。
主語が複数なら are、三人称単数は is。

努力した練習量は誰にも負けない。
その思いがあれば、きっと大丈夫です。

今日はいよいよ入試前日だとします。私は塾生にこう言います。「いつもの練習を思い出して戦ってきなさい。」と。

なぜこう言うのか？なぜなら入試当日、あなたを支えてくれるもの、あなたを勇気づけてくれるもの。それは、あなたが今日まで頑張ってきた、「辛かった練習の日々」だからです。

５科目すべて、厳しい練習で鍛えられてきた子供たちには、入試で悔いなく全力で戦ってきてほしいのです。

将来きっと、入試当日の経験は、力になります。ですのであなたも、悔いなく入試を迎えられるよう、今からできることを頑張ってください。

出典「ドクターゼロス ～スポーツ外科医・野並社の情熱～」
原作 石川秀幸氏　作画 橋本スズヒラ氏　集英社 より

Will you ～?：（あなたが）～してくれませんか と、依頼を表す。

第 4 文型という文構造。No,41 で学びます。
show 人＋物：人に物を示す、
：人に物を見せる（教える）。
（例）I showed him a picture of dogs.
（私は彼に、犬の写真を見せました。）
(3)について。
人は、me
物は、the way to the station

問題１７１　文を完成させなさい。

(1) Will you open the door ?
ドア［　　］。

(2) Will you make me dinner ?
私［　　］。

(3) Will you show me the way to the station ?
私に、駅へ［　　］。

way：道
to the station：駅への

(4) 私に、夕食を作ってくれませんか。　dinner　make　you　me　will
＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ?

疑問文なのに some を使う。
人に物を勧める場合、
相手の返事が、Yes を期待できるとき、疑問文でも some です。
Would you like some juice?
（ジュース飲むかい。）
上の文の設定：
友人宅にて、お父さんに勧められて、「はい、頂きます！」が予想されるので、疑問文でも some です。ちなみに返事は…
Yes, please.
（はい、頂きます。）
No, thank you.
（いいえ、結構です。）です。

would ウドゥは、will の過去形。※仮定法以外では、通常以下のように用いる。
Would you ウッジュー **?**：～していただけませんか。❀丁寧に依頼する時。

Would you like some A ?：A はいかがですか。　❀勧誘する時。

(5) 窓を閉めていただけませんか。
＿＿＿＿ ＿＿＿＿ close the ＿＿＿＿ ?

(6) Would you know my name ?
私の名前を［　　］。

(7) Would you like some orange juice ?
オレンジ［　　］。

close クロウズ：閉める（動詞）
close クロウス：近い（形容詞）
（例）My house is close to the station.
（私の家は、駅に近いです。）
●close to A：A に近い。

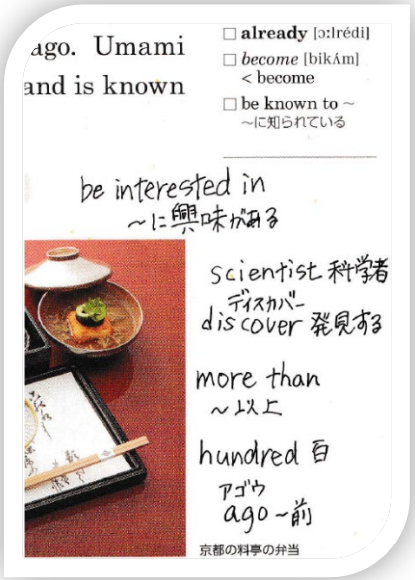
●挫折したのは、挑戦したから。緊張するのは、頑張ってきたから。

☆33 助動詞の慣用表現

四角語句を、線の上に練習するでごんすよ。

英単語の覚え方：教科書の余白に、そのページの難しい「英単語と意味」を、セットで書きこむのです（予習で）。**そのページに出てくる分からない単語は、そのページ内のどこかに、すでにある**ことで、復習や単語の暗記がすぐできます。左が例です。

私（塾長）も、**３２ページの単語テスト、５分後にするよ**。と言いやすいです。



問題１７２　それぞれ丸をつけなさい。また、行為者（行動する人）に☑をつけよ。

(1) ここに座っていいですか。　□話し手　□聞き手

(Will　May　Shall) (I　you　we) sit here ?

(2) 夕食を作ってあげましょうか。　□話し手　□聞き手

(Will　Shall　May) (I　you　we) make dinner ?

(3) 夕食を作ってくれませんか。　□話し手　□聞き手

(Will　Shall　May) (I　you　we) make dinner ?

(4) 牛乳はいかがですか。※飲む人→　□話し手　□聞き手

(Will　Would　Shall) (I　you　we) like some milk ?

行為者とは、行動する人のこと。

(1)…「座る」という行動を、実際にする人です。

May I	:（私が）していいですか。
Shall I	:（私が）しましょうか。
Shall we	:（私たちで）しませんか。
Will you	:～してくれませんか。
Would you	:～して頂けませんか。
Would you like	:いかがですか。

これらの慣用表現は、力技で暗記するのではなく、

主語(I we you)に注目するのです。主語は行為者ですので、誰が行動するか考えると、理解しやすくなります。

問題１７３　適語を選んで丸をつけなさい。

(1) 彼は６時に起きなければなりません。

He (can / must / may) get up at six.

(2) この箱を開けてはいけません。

You (can't / mustn't / don't have to) open this box.

(3) ここでは、中国語を話さなくてもいいですよ。

You (won't / don't / mustn't) have to speak Chinese here.

(4) 私はここでは、フランス語を話さなくてはいけませんか。

(Am / Do / Must) I speak French here ?

応用として、

推量の may ～：～かもしれない、

断定の must～：～にちがいない（未来は表さない）、がある。

この No,33 の、１ページ目を参照。

出典「ドクターゼロス ～スポーツ外科医・野並社の情熱～」
原作 石川秀幸氏　作画 橋本スズヒラ氏　集英社 より

I come.（すぐ行くよ！）

２階で宿題をしている息子が、１階から母さんに、「ご飯よ！」と、声をかけられて一言。

このように言語は、場面中心の目線で、言葉が選ばれることが多いです。

このやりとりの場面の中心は…１階の食卓です。

あなたも日本語で、同じ表現を使っていると思います。友人のおウチから帰宅するときに、「また来るね。」と言いますよね。「また行くね。」とはあまり言わないと思います。

● 不安なのは、勝つ可能性があるから。PK をはずしたのは、蹴る勇気があったから。

**ライオンを怖いと思う人は、
ライオンの怖さを知っている人だけです。**

「よし、試合でシュートを決めるぞ！」と思いながらシュート練習をする人は、上達が早いです。

その中でも特に上達が早い子の条件は、「シュートを決めたことがある子」です。この成功体験こそ、勉強やスポーツで活躍するための、本質なのです。

一回でいい、一瞬でいい、「これか！」と、感動する必要がある、というわけです。もちろんその感動まで、たくさんの失敗をすることになるのですが…。

「昨日の練習でシュート入った。嬉しかった。また決めたいな！」と思うから、練習を頑張れるのですよね。

まず結果を出すまで辛抱する。勉強もスポーツも、上達する最大のコツは、成功するまで続けることです。途中で諦めないで、続けることです。

ちなみに「やる気」は関係ありません。
一定期間は、乗り気になれなくても、投げずに続けてみてください。「やる気」は、行動し始めてから出るものだからです。

出典「チ。―地球の運動について―」
魚豊氏　小学館　より

３３　助動詞の慣用表現［解答］

［解答］助動詞の慣用表現　３３

問題１６８ (1)を食べてもいいですか (2)を読んでもいいですか (3)らっしゃいませ (4)May I
問題１６９ (1)may be (2)must be (3)must come (4)must be , I'm sure　※ sure シュアと発音します。

問題１７０ (1)車を洗いましょうか (2)をしませんか（をしましょう も可です）
(3)Shall we (4)Shall I (5)want / to (6)He shall
※**shall は、I の意志**になります。（**私の働きかけ**によって）彼が行く（訪れる）のです。

(7)Let me
もともとの英文は、You let me introduce myself.です。命令文ですので You が省略されました。
構造は、「あなたが許可して」「私が自分自身を紹介する」となります。

(8)You shall , let you 「あなたに、この本をあげるね。」とは、
上の英文…（私の意志で）「あなたはこの本を持つ。」という意味です。
下の英文…「私は、あなたが本を持つことを許可します。」と言えます。
構造は、「私が許可して」「あなたが本を持つ。」となります。

(9)食べてもいいですか（食べさせてくれませんか）
（**私が食べる**、というところがポイントです。←大事）
let は、一般動詞です。よって、**先頭にあるので、「命令文」**ですね。

「主語＋let＋人＋動詞の原形：**主語は、人が～するのを許可する。**」が、基本的な意味です。
let は、人に対して、「強制でなく、自由にすることを許可する」ときに使う表現です。
直訳すると、「私がこのケーキを自由に食べることを、許可してください。」となります。

問題１７１ (1)を開けてくれませんか (2)に、夕食を作ってくれませんか
(3)の道を（の行き方を）、教えてくれませんか

(4)Will you make me dinner (5)Would you / window (7)知っていただけませんか
(7)ジュースはいかがですか

問題１７２ (1)May I　話し手　(2)Shall I　話し手 (3)Will you　聞き手　(4)Would you　聞き手
問題１７３ (1)must (2)mustn't (3)don't (4)Must

● 信じて進めば、いつだって、未来は味方だ。